

The Martin Guitars

HAND MADE SINCE 1833

マーティン・ギターは1833年創立以来、最も良い材質と優れた職人達の腕によって、最高級のギターを作りつけております。その一台一台には、シリアルナンバー(通しナンバー)が焼付けられ、これにより現在でも手にしたギターが、いつ頃作られたものかが一目でわかります。

ドレッドノート

マーティン・ギターは記号によって種類が分けられています。サイズを表わす記号として、小さい順に、"O" "OO" "OOO" "D" "D-S"があります。特に"D"は最も人気のある大きいサイズのモデルで、イギリスの戦艦"ドレッドノート"から付けられたものです。また、材質、仕上げについては、"18" "28" "35" "41" "45"などの数字で区別しています。

シンプルスタイル"18"

現在みられる"18"は、1956年からのもので、表板に細いストライプの線取りが1本。それをとり囲むように黒いセルロイドが使われています。このシンプルさが"マーティンらしいギター"と多くの人々が語るゆえんです。

ベストセラー"28"

マーティン・ギターの中で最高の人気を誇るモデル。"Very Good Basic Style"として他のギターの良きサンプルになっております。特に1947年で製造が中止されていた戦前モデルのD-28は、指板にダイヤモンド・インレイ、ボディにヘリンボーン(Herring bone=ニシンの骨の意。杉綾模様)の寄木細工の施された格調の高いスタイルです。この復元が遂に1976年11月にHD-28として実現しました。

まぼろしの名器

オリジナルD-45

1933年、当時"シンギング・カウボーイ"として人気のあったジーン・オートリイという歌手の注文によって生まれたのが、オリジナルD-45のファーストモデルです。その後1942年10月戦争下の物資制限により製作を中止するまでの9年間に作られたのが、たったの91台。



マーティンの工場内は全て、温度20℃、湿度40%以下に保たれています。この厳格なコンディションの中で、220人のプロフェッショナル達が1日平均、60台のマーティン・ギターを作り出しています。



MARTIN GUITAR D-18

マーティンギターは、全機種にマーティンオリジナルハードケースが付いています。



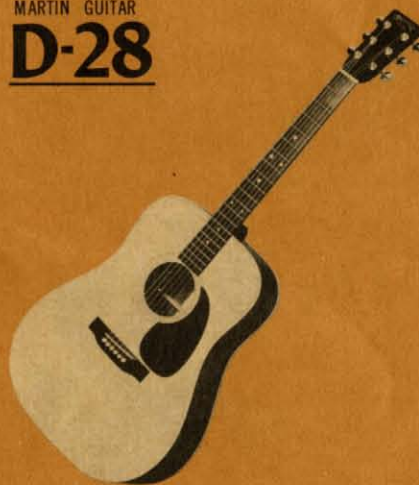
TOP	スプルース
SIDES & BACK	マホガニー
NECK	マホガニー
FINGERBOARD & BRIDGE	ローズウッド
STRINGS	マーキスMed
NOTE	"ドレッドノート"ボディに14フレットでネックが接合しています。

MARTIN GUITAR D-35



TOP	スプルース
SIDES & BACK	スリーピース・ローズウッド
NECK	マホガニー
FINGERBOARD & BRIDGE	エボニー
STRINGS	マーキスMed
NOTE	D-28と同じスタイルで、その雷切れの美しいクリアな音質は、特にスタジオ録音に適しています。ネックは14フレットでネックに接合。

MARTIN GUITAR D-28



TOP	スプルース
SIDES & BACK	ローズウッド
NECK	マホガニー
FINGERBOARD & BRIDGE	エボニー
STRINGS	マーキスMed
NOTE	ドレッドノートの究極モデル。大きな低音、豊かな高音のバランスが"ブルーグラス・ギター"と呼ばれるゆえんです。

MARTIN GUITAR D-41



TOP	スプルース
SIDES & BACK	ローズウッド
NECK	マホガニー
FINGERBOARD & BRIDGE	エボニー
STRINGS	マーキスMed
NOTE	多くのプロ・プレイヤーの要望に応じて特別な装飾を施したモデル。